

作成日：2017年3月9日
改訂日：2022年5月24日

化学物質等安全性データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名： ロブラール 500 アクア

1.2 会社情報

会社名： エフエムシー・ケミカルズ株式会社
住 所： 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
電話番号： 03-5208-1010
FAX 番号： 03-5208-1012

1.3 推奨用途 農薬

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS 分類結果

物理化学的危険性 区分外
健康に対する有害性
急性毒性（経口） 区分5
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期（急性） 区分2
水生環境有害性 長期（慢性） 区分2

2.2 GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語： 警告
危険有害性情報： 飲み込むと有害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]： 環境への放出を避けること。

[応急措置]： 気分が悪い時は、医師の診察を受けること。
漏出物を回収すること。

[保 管]： 直射日光をさけ、低温で乾燥した場所で保管すること。

[廃 棄]： 内容物、容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一物質・混合物の区別

混合物

3.2 成分情報

化学名	CAS 番号	官報公示整理番号		濃度または 濃度範囲
		化審法	安衛法	
3-(3,5-ジクロロフェニル)-N- イソプロピル-2,4-ジオキソイミダゾ リジン-1-カルボキサミド (一般名イプロジオン)	36734-19-7	—	8-(2)-1131	40.0%

3.3 分類に寄与する危険有害成分

イプロジオン

4. 応急措置

4.1 暴露経路による応急措置

吸入した場合：	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。呼吸が停止している場合には、可能であれば人工呼吸を行った上で、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：	汚染した衣類を脱ぎ、直ちに多量の水と石鹼で 15～20 分間、洗浄する。洗浄後に異常がある場合には医師の診察を受ける。
眼に入った場合：	目を開いた状態で、15～20 分間、流水で穏やかに洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は、着用した状態で最初の 5 分間洗浄した後に取外し、更に洗浄を続ける。洗浄後に異常がある場合には医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないこと。可能であれば、口の中を水で濯いだ後、コップ 1～2 杯の水をゆっくり飲ませて、医師の診察を受ける。意識がない場合は、直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

5.1 適切な消火剤

二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、砂を使用する。

5.2 使ってはならない消火剤

情報なし

5.3 火災時の特有の危険有害性

火災時の熱分解によって、有毒ガスを発生するおそれがある。

5.4 特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

5.5 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、自給式呼吸維持装置及び防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩場所への関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護着、手袋、眼及び顔面の保護具を着用する（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）。

6.2 環境に対する注意事項

人や動物が漏洩場所に近づかないようにすること。周辺環境に影響を及ぼすおそれがあるため、湖沼、河川または下水溝等の水系へ流入させないように注意すること。

6.3 封じ込め、及び浄化の方法及び機材

漏出物は吸着剤あるいは土、砂等に吸着させ、スコップ等を用いて密閉できる容器に回収する。回収後は、洗浄器具を用いて洗剤と漂白剤を含む水で漏出場所を洗浄し、洗浄液を吸着剤等に吸着させて廃棄用の容器に回収する。廃棄物の容器には内容物を明記したラベルを貼付し、「13.廃棄上の注意」に従って処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策： 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項： 取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管中または廃棄時に他の農薬、肥料、水、食品あるいは飼料に混入しないようにすること。

接触回避： 情報なし

7.2 保管

安全な保管条件： 低温で乾燥した場所で保管すること。保管場所に動物や関係者以外の方が近づかないよう注意すること。

安全な容器包装材料： 内容物を他の容器に移し替えることは避け、供給時の容器で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度・作業環境評価基準

設定なし

8.2 許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）

設定なし

8.3 保護具

呼吸器の保護具： フィルター付マスクを着用する。

手の保護具： 不浸透性の保護手袋を着用する。
 眼の保護具： 飛散による暴露を防ぐため、ゴーグルまたは顔面用の保護具を着用する。
 皮膚及び身体の保護具： 作業用の長袖上衣、長ズボン、帽子を着用すること。

8.4 設備対策

ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

8.5 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。
 取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。
 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
 作業終了後は必ずシャワーを浴びること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	常温で粘稠懸濁液体
色	類白色
臭い	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	情報なし
化学的安定性：	通常の実用条件下では安定である。
危険有害反応可能性：	知見なし
避けるべき条件：	知見なし
危険有害な分解生成物：	知見なし

11. 有害性情報

製品

急性毒性：	ラット（経口）LD ₅₀ >2000 mg/kg ラット（経皮）LD ₅₀ >2000 mg/kg ラット（吸入）LC ₅₀ >6.665 mg/L
皮膚腐食性／刺激性：	ウサギ；軽度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	ウサギ；軽度の刺激性
皮膚感作性：	モルモット；皮膚感作性なし

有効成分（イプロジオン）

慢性毒性：	長期的暴露により、慢性的な影響を起こす可能性がある。
標的臓器に対する影響：	ラット及びイヌを用いた慢性毒性試験で、肝臓、副腎、精巣、卵巣に影響がみられた。
発がん性：	動物実験で、精巣、肝臓及び卵巣での腫瘍発生数が統計学的に有意差な増加を示した。
変異原性：	Ames-test で陰性

12. 環境影響情報

生態毒性：製品

魚 類 (コイ)	LC ₅₀ = 79.6mg/L (96 時間)
甲殻類 (オオミジンコ)	EC ₅₀ = 7.28mg/L (48 時間)
藻 類 (緑藻)	ErC ₅₀ = 45.0mg/L (72 時間)

13. 廃棄上の注意

13.1 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

13.2 汚染容器および包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号: 3082
製品表示: 環境有害物質 (液体)
国連分類: 9
容器等級: III
海洋汚染物質: 該当する

14.2 国内規制

陸上規制情報: 該当しない
航空規制情報: 船舶安全法の規制に従う。
海上規制情報: 航空法の規制に従う。

14.3 緊急時応急措置指針 (容器イエローカード) 番号

171 (低、中程度の危険性物質)

14.4 特別の安全対策

輸送に際しては、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法: 第 1 種指定化学物質 (イプロジオン 40%、管理 168)
農薬取締法: 登録農薬名;ロブラール 500 アクア (登録番号第 18708 号)

16. その他の情報

参考文献: エフエムシー・ケミカルズ株式会社内資料他

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意下さい。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

中毒の緊急問い合わせ先：(公財) 日本中毒情報センター 中毒 110 番

一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499 (情報料無料) 365 日 24 時間対応
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料) 365 日 9～21 時対応

医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (一件 2000 円) 365 日 24 時間対応
(つくば) 029-851-9999 (一件 2000 円) 365 日 9～21 時対応